

令和6年10月11日

保護者各位

鳥栖市立田代中学校
校長 中島 達也

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和6年度全国学力・学習状況調査について

令和6年4月18日、以下のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国平均正答率を下回っていました。また、全15問中12問以上正答している生徒数の割合が低かったです。
- ・文法の文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる問題では、全国平均正答率を下回っていました。文法の既習事項である品詞分類について課題が見られました。
- ・「書くこと」の問題では、複数示された条件をまとめる作文問題で、うまくまとめたり、条件に沿って書いたりすることができず、全国平均正答率を下回りました。
- ・「思考・判断・表現」の問題では、資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる問題で、全国の平均正答率を大きく上回っていました。これは、日頃の授業の中で「話し合う活動」を積極的に取り入れてきた成果だと思われます。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国平均正答率をやや下回っていました。
- ・「データの活用」の領域では、全国平均正答率と同程度でした。
- ・短答式の問題については全国平均正答率と同程度でしたが、選択式、記述式の問題については下回っていました。基礎的な用語の意味の理解、数学的表現を聞いて説明することに課題がみられました。
- ・証明の問題については、無回答率が高い傾向がありました。

- ・「知識・技能」の問題で、全国の平均正答率を上回っていました。特に、簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる問題では、全国の平均正答率を大きく上回っていました。これは、TTによるきめ細やかな支援や家庭学習の充実を図った成果だと思われます。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

- ・「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」といった、基本的な生活習慣に関しては肯定的な回答が全国平均を上回っていました。
- ・「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用した」と回答した生徒の割合が県平均より大きく上回っていました。今後も各教科の授業実践において積極的にICT機器を活用し、生徒の学力向上につなげていきます。
- ・家庭学習に関しては、平日は県平均とほぼ同等の学習時間が確保されていました。「休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という問いに対しては、2時間以上「している」と回答した生徒の割合は県平均を大きく下回っていました。宿題以外の家庭学習を自分で計画的に進めることがうまくできていない生徒が多いことも分かりました。
- ・「普段、どのくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでゲーム、SNSや動画視聴などをしますか」という問いに対して、3時間以上利用していると回答した生徒の割合は、県平均、全国平均を大きく上回っていました。学校でも活用の仕方については指導していきますので、ご家庭でも今一度ルールの見直しを行ってください。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・国語、数学の結果から、基礎的・基本的なことが十分に身につけていない領域がありました。そこで、数学の授業では引き続き、教師2人によるTT授業を行い、きめ細やかな指導による学習内容の定着を図ります。また、各教科においてICT機器を活用し、学習内容を視覚的に捉えさせたり、1人1台端末を用いた教材や学習活動などを効果的に取り入れたりして、個別最適な授業を行うための改善に努めていきます。
- ・国語科では、自分が書いた文章を推敲する学習を授業に積極的に取り入れていきます。
- ・数学科では、無回答率を減らすため、基礎的な学習内容を確認後、難易度を少しずつ上げながら小テストを実施し、より一層の定着を目指します。
- ・家庭学習の習慣化に向けて、各教科で家庭学習の課題の内容や提示の仕方を工夫し、学習習慣の定着を図っていきます。また、AIドリルを活用し学習機会の充実を目指していきます。
- ・ご家庭でも次のようなことに心がけていただければと思います。

1 家庭での学習時間をつくってください。

- ◎学習する時間や時間帯を決め、取り組ませることで学習習慣を身につけさせてください。
- ◎スマートフォンやゲーム機などの利用は家庭での約束を大切に、長時間にならないよう声かけをお願いいたします。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を上手に使いましょう。

- ◎早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしてください。
- ◎将来の夢や就きたい職業等について日頃から話題としてあげてください。

3 がんばっていることや良くできたことをほめて、自尊感情を高めていきましょう。